

いざという時の為に
定期的に
正しい知識と練習を

保育に関わる人のための 救急法・AED講習

保護者向け

家庭の中、外出時を想定しながら、
実際にカラダを動かし身につける

保育施設職員向け

保育施設内、園外保育時を想定しながら、
実践練習でスキルアップ
職員間で相談して連携強化

主な講習内容

- 講義、実践練習
救急法（胸部圧迫、人工呼吸、窒息の解除）
AEDの使用法（自動体外式除細動器）
応急手当（出血、やけどなど）
対応後の精神面のケア
- グループワーク
緊急対応時のイメージトレーニング

※詳細は裏面をご参照ください。その他、園の要望にも相談応じます。



講師：大坪健二（MFA インストラクター・産業カウンセラー）

姫路工業大学大学院（現：兵庫県立大学大学院）工学研究科修了
エンジニアとして就職後、保育士に憧れ資格を取得し、保育士に転身
その際に、子どもたちの安全を守れるようになるため
MFA インストラクター資格（乳幼児・小児国際救急法、血液感染性病原体）を取得
保育士として実務経験後、救急法のインストラクターとして本格的に活動開始

お問合せ・お申込み先

保育に関わる人のための

よいこ救急

メール

teate@yoiko99.net

※講師は片耳中途失聴です。聞き間違い、聞き漏らし予防のため、ご連絡はメールをお願いします。

ホームページ

<http://yoiko99.net>

価格・時間は
裏面に

プログラム名	よいこ救急コース			MFA コース	
	保護者向け	保育施設職員向け		ケアプラス® CPR(乳幼児)	チャイルドケア プラス
		通常プログラム	特別プログラム (同じ内容を2~3回実施)		
価格	25,000 円/回		40,000 円/日	15,000 円/人	20,000 円/人
所要時間	60~120 分	90~120 分/回	90~120 分/回 ※時間制限有り	300 分	480 分
受講人数	3~50 人			1~12 人	
講習教材	講義	レジュメ		DVD、テキスト	
	実技	訓練用マネキン、AED 訓練機など		訓練用マネキン、AED 訓練機、 人工呼吸用マスク、人工呼吸用シート、 グローブ、止血帯など	
受講証・認定カードなど	—	受講証(施設宛、後日郵送)		国際認定カード(個人宛、即日発行)	
講習内容	窒息の解除	●	●	●	●
	胸部圧迫	●	●	●	●
	レスキュー呼吸	—	○	●	●
	AED の使用法	●	●	●	●
	応急手当	○	—	—	●
	対応後の精神面のケア	—	○	●	●
	グループワーク	—	○	—	—

<開催方法のご提案>

保護者向け

- ・園庭開放、一時保育などを利用しているパパ、ママ向けに、地域の子育て支援として、午前の保育時間中に開催
- ・お祭りや、地域行事などのイベント時に「救急法ブース」として設置し開催

保育者向け・・・通常プログラム

- ・“午睡の時間”を使って開催
- ・子どもたちが帰宅した“保育終了後の時間”に開催

保育者向け・・・特別プログラム (同じ内容を2~3回開催するから全員が受講しやすい)

- ・平日に、3回に分けて開催・・・“午睡の時間”、“夕方保育の時間”、“保育終了後の時間”など
- ・土曜に、2回に分けて開催・・・“午前保育の時間”、“午睡の時間”など

※6時間以内に全ての講習の終了が必須(講師の施設滞在時間は6時間以内)です。



<受講後の感想をご紹介>

- ・実際に体験することで意識が高まりました。頭で理解していても忘れることもあるので、日頃から受講し、意識を保つことが大切だと思いました
- ・ゆづり、そして、とても分かりやすい講義で、難しいと思っていた救急の知識や行動が自分にもできるのではないかと前向きに思えるようになりました
- ・一つ一つの手順を丁寧に教えて頂き、以前、救急法を学んでから時間が経っていたので、再び一から学ぶことができ理解が深まりました
- ・実践時間が長く、AEDの付属備品も知れ、事例ごとの対処方法の話し合いなど、“自分がその場にいあわせた場合”の対応力が身に付く講習でした
- ・実際にAEDを使っているところを見て、自分でも使えるということが分かったので、勇気が持てそうです。また気軽に質問できたのも良かったです
- ・AEDの使い方、窒息の手当てなど、“実際に起きたら”という想定で分かりやすく教えてもらえました
- ・幼児、赤ちゃんの人形を使って、それぞれのやり方を体験することができました
- ・何度か受けたことがあるけど、忘れてしまうので復習のために受講できてよかった